

PEACE GOURD



9条の会・養老
会報、第6号
2017年3月18日
(部内資料)

”ピース・ガード” 「平和の瓢箪」

設立一周年の総会

—— 会員半数近くの31名が参加 ——

2017年3月
世話人代表 中野一美

- ◆ 2月18日、設立一周年の総会を中央公民館で行いました。町の別の行事と重なったりして、皆さんお忙しい中、来賓、一般の参加者を含め、計37名の出席でした。
(2月25日、中日新聞報道)
- ◆ 1年間の活動報告をスライドで発表。(前回の会報5号で既報)
- ◆ 会計報告では、会の運営が入会金とカンパで何とか賄われていることが報告されました。この報告について、会員さんから「運営の安定のため、少しは年会費を集めたらどうか…」と、有難い提案をいただきました。その場では「年金暮らしの人も多い中、なるべく敷居を低くして、入りやすく、続けやすい会にしていこう。」との、設立時の趣旨をお話して、世話人会での検討課題としました。その後の世話人会で「カンパで運営できる間はこのままでいこう。」と再確認いたしました。
- ◆ 来賓として「9条の会・おおがき」を代表して、西濃法律事務所の山田弁護士、大垣警察市民監視事件の原告の一人、松島勢至さんからのあいさつと訴えをしていただきました。今問題になっている「共謀罪」の先取りの市民監視がすでに地元の大垣警察で行われていたとは…。
- ◆ 引き続き現在の4名で、世話人として運営に当たることを確認して、代表の私、中野よりごあいさつをさせていただきました。
無理せず、できる範囲で、楽しく、あきらめず、学び、行動していきましょう。シルバーパワーに依拠しながらも、ヤングパワーの掘り起しにも挑戦。新しくWEBの世界にもチャレンジしていきたい。時々は懇親会も開きたい。
今年度もよろしくお願ひします。



♪ ♪ 戦後は続くよ どこまでも ♪ ♪

設立一周年、総会記念講演報告

「9条のこころをまもる～憲法の危機と、私たちにできること～」

2月9日、9条の会・養老の総会后、元岐阜大学教授（哲学）吉田千秋先生をお迎えして講演をしていただきました。先生は9条の会岐阜県連絡会の会長で岐阜9条の会の代表もされています。以下講演要旨です。

安倍首相の改憲への執念はすさまじいものがあります。自民党改憲草案の3本の柱。

第1の柱は「国民が主人公」から「天皇を戴く国」への変更です。

第2は「永久の権利としての基本的人権」から「公益(国益)・公(国)の秩序によって制限できる基本的人権」への変更です。

そして第3は「戦争をしない国」から「戦争ができる国」への変更であります。

また戦争体制の4つの軸として、①戦争法などの有事の法体制と基本的人権制限法規、共謀罪法案 ②戦争推進の政治体制、議会立法権の軽視、③兵器体系などの強固な軍事体制、日米軍事同盟の強化 ④戦争肯定の教育・マスコミ支配、道徳教育の推進、大学学長権限強化、軍事研究の推進などがあげられます。

ここで「き・ゆ・う・じ・よ・う」としておもしろい表現で言われました。

「憲法9条のこころ」

き：きく耳をもつこと

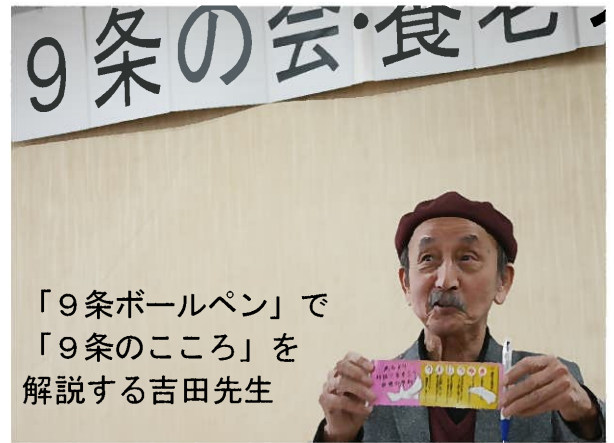
ゆ：ゆうじょうを深めること

う：うまが合わなくてもよく話し合うこと

じ：じぶんの国のことだけを考えないこと

よ：よその国に行って武力を使わないこと

う：うそをついて戦争をしないこと



「9条ボールペン」で
「9条のこころ」を
解説する吉田先生

これに対して「安倍首相とトランプ大統領のこころ」

◇野党の意見はまじめに答弁しない

◇敵対者は排除する

◇うまが合う者とだけ話し合う

◇〇〇ファースト+〇〇同盟

◇戦争はヒミツとウソから始まる。

さて、目下焦点の課題として、

①南スーダン派遣、衝突はあったが法的戦闘ではないという。

②共謀罪問題、平成版治安維持法、市民活動を弾圧できる。

③安倍・トランプ会談で泥沼の追従同盟。

わたしたちは「戦争できる国」を許さないといううねりを作っていきましょう。与党の中でもかなりの温度差があるのです。私たちの世論が大きなカギになります。



講演が終わってわたしは何かわくわくした気持ちになりました。自分も何かできることがあると思いました。私たちの取り組みは小さいかもしれませんが、しかし、平和をねがう声が各地で起これば社会は変わるのです。小さくても声をあげよう。あきらめないで希望をもって。私たちの次の世代には明日があるからです。

先生ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

(文責) 世話人：堀江 法夫

♪♪♪♪♪ He' s Not just a soldier ♪♪♪♪♪

町内祖父江の会員さん、禿（かむろ）さんから寄稿していただきました。



象鼻山のふもと橋爪の道端に一つの句碑が立っている。「嗚呼日中戦争」と彫られ、その下に「討つ人も 討たるる人も 心せよ ひとつ世界の人に あらずや」とある。日中戦争で戦死された身内を思い、何とも言えない悲しみの中で作られた句であろう。

それを見て、私が若い時に好きだった歌を思い出した。
〈He' s Not just a soldier〉(リトル リチャード)
"He' s not just soldier in a brown uniform"
「彼は兵士なんかじゃないんだ、軍服は着ているけれど」
"He' s somebody' s son" 「彼はだれかの息子なんだ」
"He' s somebody' s love" 「必ず誰かの愛するひと」
"He' s somebody' s friend" 「誰かの友達なんだ」
そして最後に



"one of God' s sons" 「神の子なんだと(私の場合は、仏の一人子)。」

前の句では「一つ世界の人にあらずや」と言う。誰であろうと、同じくかけがいのない人であり、その命は波及しているんだと、今、そんな当たり前と知っていることを戦争は奪い取ってゆく。そのことを心に刻みこめと。そういえば「討つ人も 討たるる人も 心せよ 討つも討たるも 同じ同胞」(川島芳子) という句もあったと思う。

人間には、平等に無量の願いがかけられている。忘れてはならないと、つくづく思う。久しぶりにこの歌を口ずさみながら。

(禿 憲正)

リトル・リチャード (Little Richard) : 1932年12月5日生
アメリカ合衆国の歌手ロックンロールの創始者の一人。
代表曲「のっぽのサリー」1956、「ルシール」1957
「ジェニージェニー」1957他多数



☆☆ 「共謀罪」 一口メモ ☆☆

知恵蔵 mini の解説から
犯罪を行うことを具体的・現実的に話し合い
合意に至ることによって成立する罪のこと。
米国など多くの国では様々な条件のもと共謀
罪が設けられているが、実際に犯罪が行われ
ていない時点で検挙・逮捕できる共謀罪は刑
法の理念に反するとの考えや、一般市民の社
会運動・抗議活動などに適応される懸念も示
されている。2000年に国連総会で国際組織
犯罪防止条約が採択され、これに加入するた
めの法整備として、日本政府は03年から3度
にわたり国会に法案・修正案を提出したが、
いずれも成立していない。15年11月17日、テ
ロ対策強化の一環として菅義偉官房長官らが
共謀罪などの法制化を進める必要があるとの
考えを示した。(2015-11-19)

話し合っ合意すれば犯罪？ メールやラインも？

◆現在、政府が成立を目指す「共謀罪」法
案は、「実行行為がなければ犯罪は成立し
ない」という刑法の大原則を破るもので、
多くの刑法学者が反対しています。

この法案は、例えば一般市民が基地建設
等の反対の声を上げようと話し合っても
「共謀」とみなされ、犯罪にされる可能性
があります。新たな冤罪を生み出すという
問題があり、併せて警察の市民監視にもつ
ながります。政治家に任せるだけでなく、
私たちも一緒に考えましょう。(佐竹)



今後の活動予定と各団体のイベント予定

- ★3月21日(火) 午後6時より「安保法制と共謀罪のゆくえ」
場所：岐阜経済大学8202教室 →→→ チラシあり
- ★4月15日(土) 午後1時半より「弁護士を招いて共謀罪の座談会」
場所：町内広幡公民館 →→→ ●養老主催、チラシあり
- ★4月22日(土) 午後2時より記念講演「共謀罪の現実」
場所：スイトピアセンター6Fかがやき学習室 →→→ チラシあり
- ★4月27日(水) 午後3時より ”9条シール投票”
場所：養老鉄道烏江駅 →→→ ●養老主催
- ★5月3日(水) 午後1時半より「西濃憲法集会」
場所：大垣情報工房



編集後記

「春は名のみ風の寒さや」の歌のごとく、3月8日の朝は、綿花のように大きく成長したボタン雪が降っていました。この日、大垣警察市民監視事件の裁判の第1回口頭弁論が岐阜地裁で開かれ、傍聴に行ってきました。裁判所前には150名の支援者が。2月の総会で講演していただいた吉田先生も駆けつけておられました。次回は5月17日。腰を据えた長い闘いになりそうです。

前号につづき今6号も、会員の方から寄稿していただくことができました。皆さんからの投稿をお待ちしています。

問山 尚義(世話人)

連絡先

「9条の会・養老」世話人
090-9183-0444 中野一美(代表)
090-9894-0444 佐竹 哲
090-2348-0719 問山尚義
090-4857-1385 堀江法夫
fax(問山)
0584-71-8746
E-mail(問山)
toiyama@ninus.ocn.ne.jp